

# 進路・地域支援だより

中学部  
高等部

令和3年3月3日  
進路地域支援部  
令和2年度第10号

## 高等部の先輩と語る会

中学部では毎年、今年卒業される高等部の先輩を招き、「高等部の先輩と語る会」を行っています。今年は2名の先輩から、就職までの流れや現場実習の様子、中学部のときにやるべきことについて話を聞きました。

中学部でやっておくといいいことは

### とにかく勉強！

理由は、

- ① 入社試験で中学校卒業程度の問題が多く出るためです。
- ② 仕事の指示は、全て文章で書いてあるため、文章を読む力が必要になります。また、仕事をスムーズに行うために「改善案」を書くので、文章を書く力も必要になります。
- ③ 時間内に目標の仕事量を終わらせるかどうかを素早く判断する力が必要になります。

出席日数も大切です。3年間皆勤を目指しましょう。

また、自分の障害のことや、困っていることを周りにきちんと伝えることで、仕事がやりやすくなるでしょう。



### 1. 先輩・後輩のマナー

社会では、上下関係を大切にします。年上の方には「〇〇先輩」と付けることがマナーです。

### 2. 時間のマナー

部活動などで、先輩が準備するのは失礼です。私は30分前に部活に行き、準備をしました。

### 3. コミュニケーション

私は一人で解決することが困難だったことも、友達と一緒に解決することができました。友達を大切に、感謝の気持ちを忘れずに過ごしてください。

### 4. 勉強

分からないからと逃げずに向き合い、分からないときはしっかりと先生に聞くようにしましょう。

# にゅうしゃ し けん ちょうせん 入社試験に挑戦!

じっさい で にゅうし もんだい と ちゅうがっこうそつぎょうていど  
実際に出た入 試問題を解いてみましょう。( 中学校卒業程度)

① 800g の食塩水に食塩が40g 含まれるときの濃度を求めなさい。

しき  
式

こたえ  
答え

② 慢性の対義語を答えなさい。

こたえ  
答え

## ●●● 1月16日(土)、17日(日) 大学入学共通テストが行われました ●●●

こうとうぶ ねんせい せいと じゅけん ぎょうつう しょうがい ていど あ がつ がつ  
高等部3年生の生徒が受験しました。共通テストでは、障害の程度に合わせ、8月～9月に  
「受験上の配慮願」を提出し、以下の配慮が認められました。

- ・手話通訳士の配置
- ・座席を前列に指定
- ・補聴器又は人工内耳の装用 (FM電波等の受信装置のスイッチを切って使用する)
- ・注意事項の文書による伝達
- ・リスニング免除

じっさい じゅけんかいじょう 4 名 の せいと と いっしょ に じゅけん しょうき すべ はいりよ う お つ じゅけん  
実際の受験会場では、4名の生徒と一緒に受験し、上記の全ての配慮を受けて落ち着いて受験す  
ることができたそうです。(試験の始めと終わりは、軽く肩を叩いて教えてくれたそうです。)

これらの配慮以外は、全て他の受験生と同じです。2日間で、国語(80分)、英語(80分)、数学I(70  
分)、数学II(60分)の試験を受験しました。

## ●●● 地域支援の現場より ●●●

この時期、中学3年生の通級指導では、高校入試時の配慮事項について最終的な確認をすること  
と、自己申告書Bへの文章記入に取り組んでいます。自己申告書Bへ記入する内容としては、

- ・聞こえに関わること。(特に、自分の聞こえの状態(障害)と希望する配慮事項と理由)
  - ・中学校生活で頑張ったこと
  - ・高校入学後頑張りたいこと
- の3つについて書いています。

この3つの内容は、普段から自分の聞こえに向き合い、自分自身との対話を繰り返すことを続けて  
いかなければなかなか書けるものではありません。通級指導では、「自分のトリセツ」を作るという課  
題を通して中学3年生から1年をかけて取り組んでいます。

### 自己申告書Bとは?

『障害等(病気または事故による負傷を含む)により、学力検査及び面接等にお  
ける配慮が必要な者で受験上の配慮に関する申請書(出身中学校長が作成する)  
を提出する入学志願者のうち、希望する者が提出する。【愛知県教育委員会】』



① 式  $40 \div 800 = 0.05$ 、割合に直すと、答え 5%